

令和元年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 勤修地域包括支援センター

1 施設の管理運営

開所時間 8：40～17：40 開所日 月～金 土日夜間年末年始は携帯電話による対応 担当学区：勤修学区，山階南学区，百々学区 隔月の第4日曜日の午前中に高齢者の居場所として「ほかほかサロン」をおこなっています。
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

<ul style="list-style-type: none">・ すこやか学級，自治連合会，地域ケア会議，地域のお祭りなどに出席し介護予防・認知症啓発，地域連携などをおこなった。町内会の回覧板と一緒に勤修包括の広報誌「ほかほか」を年3回、回してもらっている。・ ほぼ全て全戸訪問対象者にアプローチし，必要な人にはサービス等につなげた。・ ケアマネジャー支援として同行訪問やケアマネジャーのスキルアップの研修を企画等した。・ 地域役員やケアマネジャー等からの連絡があった虐待ケースの対応をおこなった。・ 集団健診会場で介護予防啓発活動をおこなった。・ 運営推進会議に参加した。・ 在宅医療・介護連携支援センターと一緒に研修会を企画した。 (参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容
(参考) 自主事業内容 圏域内に事務所があるケアマネジャーに対して、連携に関するアンケートを2回おこない、圏域地域ケア会議で発表した。

3 サービス提供状況

主任介護支援専門員2人（センター長と兼務），看護師2人，社会福祉士2（9月～1名 休職中）人，介護支援専門員3人 合計9人 他に事務員が兼務で1名。
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

・ 市内中小企業に優先して発注するよう努めた。・ 特殊設備等の保守管理以外は市内中小企業を活用した。
--

5 施設の利用状況（施設の稼働率，利用者数，事業参加者数など）

(1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

4996 人

(2) 相談延べ件数（実績値）

3199 件

(3) 収支実績

ア 令和元年度収入状況（単位：円）

委託料	35,435,000
介護保険収入	23,694,458
その他	1,268,488
収入計	60,397,946

イ 令和元年度支出状況（単位：円）

人件費	51,799,199
事業費	3,313,831
委託費	2,705,150
小額修繕費	31,350
その他	3,000,000
支出計	60,849,530

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

京都市勧修地域包括支援センター指定介護予防支援事業所の職員の対応についてアンケートをおこなった。方法：ご利用者にアンケートが記入された返信ハガキを手渡した。回収率：52%（配布数：236 回収：123）アンケート実施期間：令和元年12月1日～令和2年2月29日

(2) 利用者満足度把握の結果

満足 100人
やや満足 15人
普通 6人
やや不満足 2人
不満足 2人

(3) 意見等への主な対応状況

結果をホームページで公表している。苦情については苦情窓口を設置している。また職員間で共有し、再発防止策を決めている。

7 その他特記事項

(1)

--

(2)

--

8 評価（指定管理者自己評価）

京都市内で高齢者数が多く業務は大変多いが、介護予防マネジメント、地域支援事業、全戸訪問など各事業にバランスを維持しながら取り組んでいる。また職員が9月から休職中だが、職員間でフォローできている。令和2年1月から求人を出しているが、まだ採用には至っていない。地域役員さん、サービス事業所、医師等参加していただいて日常生活圏域地域ケア会議を開催できた。個別地域ケア会議から圏域地域ケア会議へ課題を抽出していくことが課題。全戸訪問対象者の情報共有を地域の役員さんとおこなった。地域の催しや会議にはなるべく参加し、地域の役員さんとはさらに信頼が深まっていると思う。予防給付等は一定のペースで増えている。今後はさらに合理的にまた経費節減に取り組む必要がある。例年2月に実施しているDVD上映など障害を理由とする差別